

第7回 アジアドラマカンファレンス in kyushu

アジア各国・地域の人気脚本家、プロデューサーが九州に集結

7月7日(土)~7月9日(月)

日韓共同製作の
テレビドラマ上映

7月10日(火)

第一部 市川森一先生 追悼式典
第二部 迎賓祭 Welcome Party

7月11日(水)~12日(木)

アジアドラマカンファレンス
本会議(招待者のみの参加)

7月13日(金)~15日(日)

エクスカージョン
(招待者のみの参加)

◆◆◆◆◆ アジアドラマカンファレンスとは ◆◆◆◆◆

日本・韓国・中国・台湾など、アジアで活躍する脚本家(放送作家)・プロデューサー(制作者)が、ドラマ作品の発表や意見交換を実施する国際会議。アジアの脚本家やプロデューサーが相入れることで、アジア全地域に歓迎されるドラマづくりを目指している。

韓国の主催機関は、文化コンテンツ産業をアジア・世界に広げ、アジア文化交流・発展を図る目的で設立された韓国文化産業交流財団(KOFICE)。日本側は、カンファレンス発足時より故・市川森一氏が中心的役割を果たしてきた。今回の九州開催は、市川氏の尽力によるものである。

カンファレンスは、2006年より東アジア各国で開催されており、第1回は韓国・釜山、第2回は中国・上海、第3回は日本・長崎ハウステンボス、第4、5、6回は韓国・ソウルで開催された。第7回の九州開催は、2012年7月10日(火)~15日(日)の日程で行われる。

2012年7月7日(土)~9日(月) 日韓共同製作のテレビドラマ上映〈無料〉

テレビドラマは、アジアドラマカンファレンスにおいて故・市川森一氏と故・シンヒョンテク氏(三和ネットワークス会長)の二人が主導となり、国境を越えて同じ感動を共有できるような作品を目指し企画された。日本の人気脚本家が執筆し、韓国のスタッフ・キャストで製作された日韓共同ドラマプロジェクト。

上映会場：福岡アジア美術館8F あじびホール 福岡市博多区下川端町3-1 リバレインセンタービル
上映作品：テレビドラマ7作品

上映時間など詳細はこちら
http://www.chukeikyoo.com/atdc2012_kyushu/



『天国への郵便配達人』



『トライアングル』



『石ころの夢』



『顔と心と恋の関係』



『楽園』



『結婚式の後で』



『19』

©SAMHWA NETWORKS

【お問い合わせ・お申し込み先】 第7回 アジアドラマカンファレンス in Kyushu 実行委員会事務局

http://www.chukeikyoo.com/atdc2012_kyushu/ 担当：神代(くましろ)・チェ(福岡県中小企業経営者協会連合会内)
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2丁目9番28号 商工会議所ビル1階 TEL：092-451-8593 FAX：092-451-9379 E-mail：che@chukeikyoo.com

主催
九州観光推進機構 福岡市 福岡商工会議所 (社)九州ニュービジネス協議会 九州経済フォーラム 福岡産業振興協議会 九州の女ネットワーク 福岡アジアファッション拠点推進会議 韓国文化産業交流財団(KOFICE)
ATP全日本テレビ番組製作社連盟 福岡県中小企業経営者協会連合会

後援
駐福岡大韓民国総領事館 台北駐福岡経済文化辦事處 韓国貿易センター(福岡) 韓国観光公社 九州運輸局 九州経済産業局 日本貿易振興機構(JETRO)福岡貿易情報センター 福岡県 佐賀県 長崎県 大分県 熊本県 宮崎県 鹿児島県 沖縄県 (財)福岡県女性財団 福岡県男女共同参画センターあすばる 福岡市男女共同参画推進センター・アミカス 九州経済連合会 福岡経済同友会 (社)福岡中小企業経営者協会 福岡県日韓親善協会 九州日本香港協会 日本中国友好協会福岡県連合会 西日本新聞社 朝日新聞社 毎日新聞社 読売新聞西部本社 日本経済新聞社西部支社 産経新聞社 共同通信社 時事通信社 NHK福岡放送局 RKB毎日放送 九州朝日放送 テレビ西日本 FBS福岡放送 TVQ九州放送

特別協力
ジャパン・フィルムコミッション 福岡フィルムコミッション 福岡地所株式会社 株式会社ティーアンドイー 株式会社はせがわ 茶道遠州流福岡支部 社団法人隻流館 九州国立博物館振興財団 博多祇園山笠振興会 博多町人文化連盟 福岡文化連盟 九州海外協力協会 九州大学大学院比較社会文化研究院 九州大学留学生センター

主管
福岡県中小企業経営者協会連合会

迎賓祭

市川森一先生 追悼

日時

2012年 7月10日(火)
16:00~21:00(開場 15:00)

会場

グランドハイアット福岡3階 ボールルーム
〒812-0018 福岡県福岡市博多区住吉1-2-82
TEL:092-282-1234 FAX:092-282-2817

会費

10,000円

第一部

16:00~18:00

市川森一先生 追悼式典

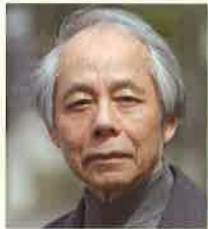
第二部

18:30~21:00

迎賓祭 Welcome Party

TVドラマ界を代表するゲストを迎え、記念座談会を開催

アジア各国・地域の人気脚本家・プロデューサーが参加



脚本家

山田太一



演出家

堀川とんこう



脚本家

中園ミホ

〈昨年(2011)韓国ソウル開催の主な参加者〉

日本	作家:中国ミホ 「ハケンの品格」 制作者:次屋尚 「アイシテル〜海容」、「Mother」
韓国	作家:カン ウンキョン 「製パン王 キム・タック」 制作者:アン ジェヒョン 「アジアドラマの新たな試み」事例発表
中国	作家:ワンイ(北京) 「クィーンズ〜長安、後宮の乱」 作家:ワンリピン(上海) 「My Beautiful Life」 制作者:ユソガン 「東方武器」
台湾	作家:チョン フェイル 「痞子英雄」 制作者:チ シリン 「華麗な挑戦」



故・市川森一 Shinichi Ichikawa

1941年4月17日、長崎県諫早市生まれ。

日本大学芸術学部卒業後、1966年「快獣ブスカ」で脚本家としてデビュー。ウルトラマンシリーズなど子供向け番組を手掛けた後、「傷だらけの天使」「淋しいのはお前だけじゃない」、大河ドラマでは「黄金の日日」、「山河燃ゆ」「花の乱」など大ヒットドラマを数々と世に送り出した。また、脚本家という職能の社会的認知向上のため、様々な活動に尽力した。

アジアドラマカンファレンスは、アジアの脚本家が相入れることで、アジア全地域に歓迎されるドラマづくりを目指そうと、韓国文化産業交流財団(KOFICE)シンヒョンテク会長と共に中心的な役割を果たし心血を注いだ。日本放送作家協会理事長を長くつとめ、文科省中教審や文化庁国民文化祭などの委員、そして故郷でも長崎歴史文化博物館名誉館長等を歴任した。2011年12月10日永眠。享年70歳。

脚本家

山田太一

Taichi Yamada

1934年東京都生まれ、早稲田大学卒業。松竹で7年間助監督を務め退社。以来、文筆業。

〈主な作品〉 テレビドラマ:「岸辺のアルバム」「ふぞろいの林檎たち」「早春スケッチブック」
小説:「異人たちの夏」「飛ぶ夢をしばらく見ない」「遠くの声を捜して」
映画:「少年時代」
戯曲:「日本の面影」など。近作に、小説「空也上人がいた」、ドラマ「キルトの家」がある。

演出家

堀川とんこう

Tonkou Horikawa

1937年生まれ。61年に東京放送(現TBS)入社以来数々のドラマを演出。

〈主な作品〉 TBSでの最初の連続ドラマは、脚本家・市川森一氏と組んだ「グッドバイ・ママ」(1976年)。この時の付き合いが後の「モモ子シリーズ」(1982~97)を生んだ。
テレビドラマ:「七人の刑事」「岸辺のアルバム」「恋人たちのいた場所」或る『小倉日記』伝
映画:「千年の恋 源氏物語」

脚本家

中園ミホ

Miho Nakazono

東京生まれ。日本大学芸術学部卒業後、広告代理店勤務、コピーライター、占い師の職業を経て、88年に脚本家としてデビュー。

〈主な作品〉 テレビドラマ:「下流の宴」「ナサケの女〜国税局査察官」「ハケン品格」「やまとなでしこ」「FOR YOU」など多数。
映画:「東京タワー」
受賞:放送文化基金脚本賞、橋田賞作品賞、日本放送ウーマン賞